

音戸 イロリバ HOUSE

瀬戸内海の音戸を合わせ、
ご紹介しましょう！

○ 自己紹介

ウッシー：此松武彦

東京の西荻窪に住んでいて、フリーでライターをしながら、自宅で民泊やシェアハウス、イベントスペースを夫婦で運営しています。
現在、広島県呉市の音戸エリアとの2拠点生活を進めているところです。

◆アウトバウンド旅行がスタート◆

1995年～1998年：

大学卒業後、広告会社を経て旅行会社へ転進。

1999年～：

海外旅行に特化した出版・編集会社に勤務。

◆インバウンド向けに関わる

2009年～：

やまところ.jpの編集長に従事し、2016年に退任。その他、トラベルジャーナル、ホテル&レストラン等の業界誌や住宅新報でインバウンドについて執筆。

2015年：民泊を開始

2017年～：

外国人向けシェアハウスを自宅で始める。地域と人をつなぐ方法に挑戦中。



○ 広島県呉市の離島にある



○ 倉橋島の入口の海峡付近にある



○ 海峡を赤い二つの橋がつなぐ



○ 海峡を渡船が行きかう



○ 古い建物が残るモザイク地帯



○ 呉服屋さんが、古民家カフェに変身



● 音戸の生業、造り酒屋に牡蠣養殖



○ 昔ながらの小道や遺構



○ 平清盛のゆかりの地である



○ 隈研吾の建築も 市民センター



○ 呉市街地→豊島→音戸→倉橋

訪問日程：2018年11月30日～12月2日

広島県里山ウェーブ！
通常の旅行では体験できない多くの出会いがあり、
多くの感動があった。私たちは、これからも長く
付き合っていきたいと思った。



● プレイヤー
阿部さとみ
此松武彦
此松陽子
林匡宏
藤井淳貴
矢野雄大
山本咲

● メンター
中村功芳





呉市 豊島・音戸・倉橋で 暮らす人との出会いがあった



○ 感動ポイント：倉橋編

～瀬戸内海の風に心を揺さぶられた～

「鹿島の旧ミカン畑と集落」

遺跡のようで迫力を感じた。近隣の空き家も雰囲気があった。（此松）



○音戸イロリバHOUSE

- ・残置物処分が一苦労



○音戸イロリバHOUSE

- 減築という方向性へ
- 炭を床下に敷く
- 地元の神主さんによるお祓い



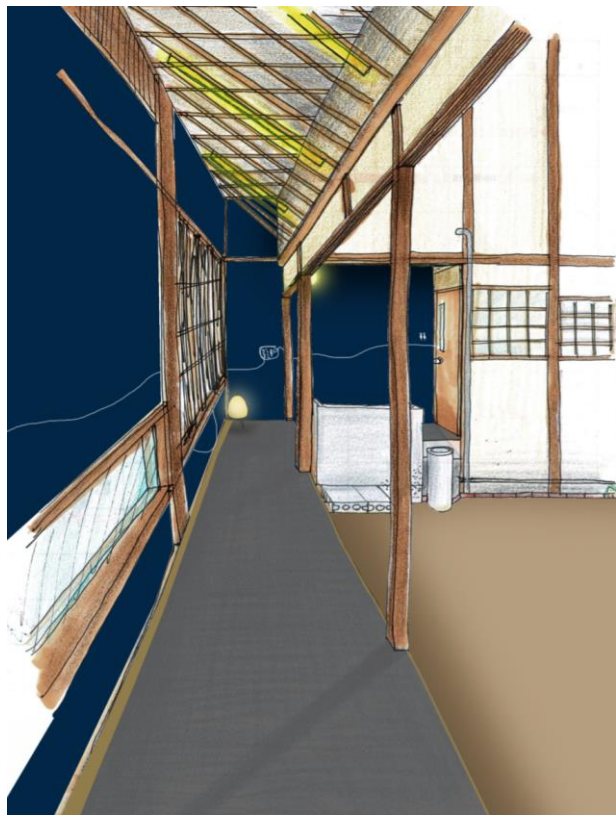
○音戸イロリバHOUSE

- 予想外の出来事
- 雨漏り



○音戸イロリバHOUSE

- ・吹き抜けのシェアスペース
- ・和モダンの客室



○音戸イロリバHOUSE

- ・土壁のある家を目指し



○音戸イロリバHOUSE

- ・クラウドファンディングへの挑戦！

Withコロナ時代に向けた取り組み

- ・89日間で、目標額の100万円を達成
- ・キッチン、2階のシャワー室、窓、庭の改修などを予定



https://motion-gallery.net/projects/ondo_ironiba



○ 音戸イロリバHOUSE



2020年10月に
グランドオープン

呉市の新原市長もお祝いに
来館いただく！

家守制度でシェア型運営
を実現！

2021年12月
音戸大橋の60周年記念に
合わせ、
「古民家×アート」の宿へ
バージョンアップ！



<http://iroriba.net/>

